

守恒小だより

発行者 北九州市立守恒小学校

校長 新森 修二

5年生が自然教室で学びました。

9月9日、10日の2日間、5年生が自然教室に行きました。場所は、若松区の玄海青年の家です。主な活動内容は、1日目に「アンダルシア姫を救え（アドベンチャーゲーム）」「試肝会」、2日目が「とんちよのいきものラリー（ウォークラリー）」でした。

「アンダルシア姫を救え」は、バラ（今回は松ぼっくり）に変えられた姫をグリーンパーク内にあるクイズを解いて助けるといったゲームでした。今年度は熱中症対策として、1時間と時間を制限して行いました。子ども達は、班でよく話し合いながら次々と答えを見付けていました。中には、「もっと簡単に解く方法はないのかな。」と工夫を考える姿も見られました。

「ゆうべの集い」の頃になると、日も傾き、涼しい風が吹いてきました。

「試肝会」では、出発前に多くの子ども達が「とても楽しみです。」と話してくれていたのですが、出発前の今田先生の話にはとてもびっくりしていました。試肝会を終えて帰ってきた子ども達は、「楽しかった。」という子や「怖かった。」という子など様々でした。

2日目の、「とんちよのいきものラリー」は、グループで協力しながら生き物の名前が書かれた木札を見つけていく活動でした。きつい時に励ましあったり、班長がチームをまとめたりする姿が見られたのは素晴らしかったです。

1日目の食事は、昼食に「カレー」が、そして夕食に「チキン南蛮」が出ました。2日目の昼食は「ミートソーススパゲッティ」でした。とても美味しくておかわりをする子が多かったです。

自然教室を通して、先生方から「少し先を考えることの大切さ」を繰り返しご指導いただきました。少し先を考えると今、何をしなければならないのか、何を準備しておけば良いのかなどが見えてきます。

その指導を受けて、先を考えた素晴らしい働きをしたり、貢献しようとする姿が多くなったりしてきました。以下は、到着式での代表児童のあいさつです。

「5分前行動を意識することで、思ったよりスムーズに活動でき気持ちよかったです。また、班長として自分の役割を果たすために自分で進んで行動することができるようになりました。」

一人一人の成長が見られた自然教室でした。この学びを学校生活に生かす姿が楽しみです。



←
到着式



←
アンダルシア姫を
救え

→
ゆうべの集い



→
食事の様子

